



認知症の人と家族の会とは

認知症の社会制度がなかった1980年に認知症の人を介護する家族によって結成しました。「認知症になっても安心して暮らせる社会」の実現という理念のもと活動している全国組織です。

認知症の理解を広め、認知症の人や介護者への支援のために、活動の三本柱を中心に要望や啓発などの活動をしています。

活動の三本柱 つどい・会報発行・電話相談を三本柱として活動しています。

👥 つどい

認知症の人や介護者同士が集い、悩みを話し合い、心の交流ができます。若年性認知症の人、男性介護者などのつどいがあります。

オンラインのつどいを開催している支部もあります。



📖 会報発行

認知症の人や介護者の声、医療・介護などの情報を掲載した会報を毎月発行しています。47都道府県の全支部でも会報を発行して会員に届けています。



☎ 電話相談

本部ではフリーダイヤルで全国からの相談を受けています。また、全支部でも認知症の電話相談を実施しています。

〈認知症の電話相談〉
月～金 10時～15時(祝日除く)
☎0120-294-456(通話無料)
〈携帯〉
050-5358-6578(通話有料)
LINE電話は友だち登録で無料



LINE



〈協力〉住友生命

その他の活動 認知症になっても安心して暮らせるために、さまざまな活動をしています。

- 介護保険制度など施策の充実を求める活動
- 国際アルツハイマー病協会(ADI)加盟団体として海外の関係機関との連携・協力
- 認知症に関する調査・分析、学会等への発表
- 講演会や啓発イベントの開催
- 専門職などを対象に研修会や講義
- 書籍、冊子の発行
(冊子「認知症と向きあうあなたへ」)
- ホームページ、SNS(Facebook、X、LINE、インスタグラム、メールマガジン)での情報発信



安心できる介護保険制度を求める署名を提出

世界アルツハイマーデー啓発



認知症とともに生きるための8か条

1. 認知症の診断で人生は終わらない
 2. 認知症の正しい情報を得よう
 3. 制度を知り、活用しよう
 4. 家族だけで抱え込まないで
 5. 仲間と支援者を探そう
 6. 職場の上司や親せきなどに病名を伝えよう
 7. 社会や地域とつながろう
 8. 家族で話し合っておきましょう
- (「認知症と向きあうあなたへ」から)